【調査結果(単純集計データ)】

金融に関する消費者アンケート調査

金融全般について、いくつかお伺いします

A ど言 B

回答欄の計数は、回答比率(%、 小数第2位四捨五入)。なお、無 回答者を掲記していないため、 回答比率の合計は必ずしも 100 とはならない。

問 1

(1) 以下の(a)~(h)に挙げた事柄について、ご自分はAとBのどちらに近いと思われますか。

もっともあてはまると思われる番号に○をつけてください。(Oはそれぞれ1つ)

		A	. ∠ ≓	; D	
		に	ちえ	に	
		近	らな	近	
		V	とい	()	
	A		£		В
(a)	金融・経済の仕組みについて十 分知識があると思う。	6.7	38.5	54.6	金融・経済の仕組みについてほ とんど知識がないと思う。
(b)	金融商品について十分知識があ ると思う。	4.7	31.2	63.7	金融商品についてほとんど 知識がないと思う。
(c)	預貯金について十分知識が あると思う。	18.4	53.9	27.3	預貯金についてほとんど知識が ないと思う。
(d)	株式・債券といった証券投資に ついて十分知識があると 思う。	4.9	22.9	71.8	株式・債券といった証券投資に ついてほとんど知識がないと思 う。
(e)	保険、年金について 十分知識があると思う。	13.2	53.3	33.2	保険、年金について ほとんど知識がないと思う。
(f)	金融商品にかかる税金について 十分知識があると思う。	5.5	28.0	66.1	金融商品にかかる税金について ほとんど知識がないと思う。
(g)	外貨預金等の外貨建て商品の為 替リスク等、投資に伴う 各種リスクについて十分知識が あると思う。	6.6	21.1	71.9	外貨預金等の外貨建て商品の為 替リスク等、投資に伴う 各種リスクについてほとんど知 識がないと思う。
(h)	預金保険制度や金融商品販売 法、金融商品取引法といった利 用者や消費者を保護する仕組み について十分知識があると思 う。	3.9	24.8	71.1	預金保険制度や金融商品販売 法、金融商品取引法といった利 用者や消費者を保護する仕組み についてほとんど知識がないと 思う。

(a)~(h)の質問に対し、すべて **1** または **2** と回答した方は 17 ページの**問2**にお進みください。

(a) \sim (h) の質問に対し、ひとつでも **3** と回答した方は、次ページの(**2**) にお進みください。 (**問1** (1) の(a)~(h)で、ひとつでも 3 の「 B に近い」と回答した方にお聞きします。)

(2) あな	(2) あなたの金融商品や金融・経済の仕組みに関する知識や理解について、次の中であてはましたのをお教えください。(○は3つまで)					
1.	金融のことを知らなくても生活していける。	40.4				
2.	金融というと、難しいイメージが先行して、積極的に情報を集めようと 思わなかった。	56.9				
3.	元本保証の預貯金を中心に運用しており、また、金融機関の破たん(倒産)も予想していなかった。	23.2				
4.	金融に関する正確な情報を、どのように入手していいかわからない。	30.3				
5.	金融商品等に関する正確で、かつ、分かり易い情報が十分に提供されていない。	34.7				
6.	せっかく情報を収集しても、分かりにくいものが多い。	31.9				
7.	その他 ()	4.8				

次のページにお進みください。

(全員にお聞きします)

問2

以下の(1)~(12)に挙げた言葉について、あなたにとってもっともあてはまると思われる番号に(0)をつけてください。(0)はそれぞれ1つ(0)

			よく知って て	ある程度は	聞いたことは知らない	聞いたことが
(1)	ペイオフ	\rightarrow	8.8	34.4	43.2	12.5
(2)	生命保険の予定利率	\rightarrow	3.2	21.0	43.7	30.9
(3)	確定拠出型年金 (日本版 401k)	\rightarrow	2.7	12.3	32.8	50.8
(4)	相続税	\uparrow	11.4	55.9	29.1	2.5
(5)	金融商品販売法、 金融商品取引法	\rightarrow	1.5	10.5	47.9	38.5
(6)	リボルビング払い	\rightarrow	14.4	34.9	22.3	27.4
(7)	複利	\rightarrow	13.4	35.9	33.6	15.8
(8)	分散投資 (ポートフォリオ)	\rightarrow	4.7	14.4	28.5	51.4
(9)	リスクとリターン	\uparrow	10.4	32.3	33.7	22.5
(10)	投資信託	\rightarrow	7.3	32.9	50.2	8.6
(11)	外貨建て金融商品	\rightarrow	4.4	20.6	40.9	32.9
(12)	個人向け国債	\rightarrow	8.8	30.8	48.2	11.4

問3

以下の(1)~(6)に挙げた具体例について、あてはまると思われる番号に〇をつけてください。

(1) 同じ年のAさんとBさんがいます。Aさんは25歳のとき、銀行に毎年20万円ずつ預入し始めましたが、Bさんはしていません。50歳になったとき、Bさんは退職後の生活に備えてお金が必要だと気付き、銀行に毎年40万円ずつ預入し始めましたが、Aさんの預入は相変わらず毎年20万円ずつのままです。さて、2人が75歳になったとき、どちらが多くのお金(預金残高)をもっているでしょうか。(○は1つ)

1.	2人とも同額を預入したので、同額の預金残高を保有している。	7.2
2.	Bさん。毎年の預入額がAさんより多いから。	3.1
3.	Aさん。預入した総額がBさんより多いから。	7.2
4.	Aさん。預金残高が長期間に複利で増加しているから。	77.3 正答

(2)金融商品について、利用者保護などの目的で規制する法律が定められています。次の(1) ~ (5)の金融商品について、対応する法律を1~4の中からそれぞれ1つ選んでお答えください。(○はそれぞれ1つ)

				規制	訓する法律名称	にと思われるも	の
		箇所は正答		銀 行 法	金融商品取引法	保険業法	貸金業法
	(1)	外貨預金 -	\rightarrow	59.6	23.0	0.4	2.4
· ·	(2)	株式 -	\rightarrow	6.4	73.4	1.0	4.3
金融商品名	(3)	投資信託 -	\rightarrow	15.3	58.7	1.7	9.1
名 	(4)	生命保険 -	\rightarrow	0.4	1.5	87.3	0.4
	(5)	公社債 -	\rightarrow	15.6	41.5	1.4	25.4

(3)銀行で取り扱われている金融商品のうち預金保険の保護の対象となっているのは、以下 のうちのどれでしょうか。(○はいくつでも)

1.	外貨預金	16.0	
2.	株式投資信託	6.6	
3.	公社債投資信託	8.9	
4.	国債	34.2	
5.	住宅火災保険	15.3	
6.	定期預金	78.7	正答
7.	どれも保護されない。	5.4	

(4) 国債の金利と価格の関係を正しく説明しているのは、次のうちどれでしょうか。

(0は1つ)

1.	国債の価格が上がると、金利が上がる。	14.6	
2.	国債の価格が上がると、金利は下がる。	17.2	正答
3.	国債の価格と金利との間には、何の関係もない。	14.7	
4.	よく分からない。	51.9	

(5)100万円を年5%の金利で1年間借りました。その後、毎年同じ金利条件で借り換えて、 元本と金利を5年後に一括して返済しました。5年後の返済額に関する以下の説明のうち 正しいものはどれでしょうか。(○は1つ)

	22.0	脊額は、およそ 125 万円である。	単利計算であるため、5年	1.
	5.5	斉額は、およそ 128 万円である。	単利計算であるため、5年	2.
	5.8	斉額は、およそ 125 万円である。	複利計算であるため、5年	3.
正答	23.2	斉額は、およそ 128 万円である。	複利計算であるため、5年	4.
	41.4		よく分からない。	5.

(6) 多重債務に陥った場合の解決法として正しくないものは次のうちどれでしょうか。

		(0は1つ))
1.	弁護士や司法書士に依頼して、債務の任意整理を行う。	7.7	
2.	簡易裁判所に特定調停の申し立てをして、調停委員の斡旋により債 務整理を行う。	3.7	
3.	債務返済のための借入を繰り返す。	71.7	正答
4.	自己破産申し立てをして、債務を免除される。	6.9	
5.	個人再生の申し立てをして、元本の一部が免除される。	3.0	

金融に関する情報についての感想をお伺いします

問4

現在、さまざまな団体や企業が提供している金融に関する情報について、あなたはどのような感想をお持ちですか。(〇は1つ)

1.	パンフレットやホームページなどをよく読んだり見たりしており、金融 商品や金融・経済の仕組みに関する知識を得るために役立っている。	3.6
2.	どちらかと言うと、内容が難しく、分かりにくい。	27.7
3.	金融機関に都合の良いことが多く書かれている感じがする。	19.1
4.	あまり目にしたことはない。	15.3
5.	興味・関心がない。	33.2

金融に関する必要な情報の範囲についてお伺いします

問5

あなたは、どのような金融に関する知識・情報が暮らしに役立つと考えますか。

(Oは3つまで)

金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・ 1. 28.1 2. 金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、 39.0 破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報 金融・経済の仕組みに関する知識・情報 3. 17.9 (例:金融機関や株式市場の役割・機能について) 多重債務に陥らないための知識・情報 4. 11.5 5. 金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報 31.8 将来の生活設計やこれに必要となる資金計画などに関する知識・情報 6. 40.5 7. 介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報 62.5 8. 子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報 16.8 9. その他() 1.9

問6

あなたは、以下のどのような分野の情報を希望しますか。(○は3つまで)

1.	預貯金	43.5	6.	保険	39.4
2.	株式	11.0	7.	税金(相続税等)	34.3
3.	債券(公社債)	4.4	8.	各種ローン、クレジット	7.2
4.	投資信託	8.9	9.	信託・遺言など	5.2
5.	年金	64.6	10.	特に希望しない。	14.8

金融に関する必要な情報の入手方法についてお伺いします

問7

あなたは、金融に関する知識・情報を、主にどこから得ていますか。

			(0は3つまで)
1.	金融機関から(窓口、パンフレット類、広	S告、HPなど)	66.3
2.	金融の専門家から(書籍、講演会、セミナなど)	一一、HP、テレビ番組	30.3
3.	特定の業界に属さない団体から (パンフレナー、広告、HPなど)	/ット類、講演会、セミ	14.1
4.	家族・友人から (会話など)		43.2
5.	学校から (授業や講義など)		2.6
6.	その他()	7.1
	たは、金融に関する知識・情報が、どのような)は3つまで) 金融機関から	\$ <u>主体</u> から提供されるのか	[、] よいと思います 54.9
2.	金融の専門家から		44.9
3.	特定の業界に属さない団体から		28.7
4.	家族・友人から		13.6
5.	学校から		6.7
6.	その他()	3.5
7.	よく分からない。		14.9

問9

あなたは、金融に関する知識・情報が、どのような<u>かたち</u>で提供されるのがよいと思いますか。(○は3つまで)

1.	パンフレット、冊子、ビデオ		47.1
2.	講演会・セミナー		16.9
3.	HP(インターネット)などIT(情報技術)の活用		31.3
4.	通信教育		1.9
5.	新聞・雑誌やテレビ番組等マスメディア		68.7
6.	その他()	2.2
7.	よく分からない。		13.7

金融に関する過去のトラブル経験などについてお伺いします

問10

- (1) あなたは金融商品の購入などにあたって、以下のような勧誘をされたことがあります か。該当するものがあれば、番号に〇をつけてください。(〇はいくつでも)
- 真実ではないことを説明されて、金融商品の購入(取引)を勧誘され
 たことがある。
- 2. 「必ず上がります」とか「絶対に○○になる」と断定することや、そ 13.8 う思わせるような表現を使って、金融商品の購入(取引)を勧誘されたことがある。
- 3. 頼んでもいないのに自宅や勤務先に押しかけてきたり電話をかけてき **21.7** たりして、金融商品の購入(取引)を勧誘されたことがある。
- **4**. 「いりません」とはっきり断ったのに、しつこく金融商品の購入(取 **8.6** 引)を勧誘されたことがある。
- 5. 特に経験したことがない。→ 25ページの問11にお進みください。

(問10の(1)で1~4のどれかひとつでも〇をつけた方にお聞きします)

(2) そのような勧誘をされた後、あなたはどのような行動をとりましたか。あてはまるものを次から選んで○をつけてください。(○は1つ)

1. 2. 3.

81.5 6.2 12.0

(**問10**の(2)で1もしくは3に〇をつけた方=**購入を断ったことがある方**にお聞きします)

(3)) 購入を断ったケースについてお伺いします。具体的にはどのような行動	をとりました
	か。(Oはいくつでも)	ļ
1.	そのような勧誘は法律で禁じられているとして、正確な説明を求めた り、業者に苦情を言ったりした。	28.0
2.	業者が法律に定められた登録ないし認可等を得ているかどうかを確認 し、得ていない場合は購入を断ったり、業者に苦情を言ったりした。	8.9
3.	相談できる家族や知り合いなど信頼のおける第三者にサポートしても らい、正確な説明を求めたり、業者に苦情を言ったりした。	12.9
4.	各地の消費生活センター、国民生活センター、法テラス、弁護士会な どへ相談したり、苦情窓口を利用した。	6.7
5.	その他 (47.5

(**問10**の(2)で2もしくは3に〇をつけた方=**購入したことがある方**にお聞きします)

(4)	 購入したケースについてお伺いします。具体的にはどのような行動を (○はいくつでも)	をとりましたか。
1.	勧誘内容に納得はしなかったが、対応方法がわからず購入してしまった。	32.3
2.	特に勧誘内容を不審に思わず購入してしまった。	59.1
3.	その他()	18.1

(全員にお聞きします)

問11

(1) あなたは金融商品の購入などにあたって、以下のような経験をしたことがありますか。該当するものがあれば、(2)の下にある表中の番号に〇をつけてください。

(Oはいくつでも)

- 1. 金融機関が販売している金融商品の特徴(例えば、元本割れのリスクがある、など)について、十分な説明がないまま、あるいは十分理解できないまま、これを購入したことがある。
- 2. 街中で声をかけられたり訪問されるなどして、商品の購入を勧められ、こ 1.3 れを購入し、後悔したことがある。
- 3. 電話勧誘・ダイレクトメール・電子的手段などの非対面勧誘や取引におい 1.6 て、商品を購入し、後悔したことがある。
- **4**. すでにあるローンの支払いに充てるため、他の金融機関から借り入れるこ **2.9** とを繰り返したことがある。
- ·5. 特に経験したことがない。──→ 28ページの**問12**にお進みください。 **89.1**

(問11の(1)で1~4と答えた方にお聞きします)

(2) そのような経験をされた後、あなたはどのような行動をとりましたか。それぞれの経験毎にあてはまるものを次から選んで、下の表中の番号に〇をつけてください。

(0はそれぞれいくつでも)

- 1. その商品を販売した金融機関などに相談した(または苦情を申し入れた)。
- 2. 相談できる家族や知り合いなど信頼のおける第三者に相談した。
- 3. 各地の消費生活センター、国民生活センター、法テラス、弁護士会などへ相談した(または苦情窓口を利用した)。
- 4. どう対処すればよいかわからなかったので(ないし面倒なので)、何もしなかった。
- 5. 自己責任と考えてあきらめ、何もしなかった。

6. その他 (

(2) の回答結果については、(1) の設問で1. ~4. と回答した人毎の集計値を掲載

ついて、十分な説明がないまま、あるいは十分理解できないまま、これを購入した」経験をし			
た後、	どのような行動をとりましたか。(〇はそれぞれいくつでも)		
1.	その商品を販売した金融機関などに相談した (または苦情を申し入れた)。	25.7	
2.	相談できる家族や知り合いなど信頼のおける第三者に相談した。	10.5	
3.	各地の消費生活センター、国民生活センター、法テラス、弁護士会などへ相談	5.7	
4.	した (または苦情窓口を利用した)。 どう対処すればよいかわからなかったので (ないし面倒なので)、何もしなか	19.0	
٠.	った。	13.0	
5.	自己責任と考えてあきらめ、何もしなかった。	53.3	
6.	その他()	7.6	
2. Г	街中で声をかけられたり訪問されるなどして、商品の購入を勧められ、これを購	λL.	
	った」経験をした後、どのような行動をとりましたか。(〇はそれぞれいくつでも)		
1.	その商品を販売した金融機関などに相談した(または苦情を申し入れた)。	13.8	
2.	相談できる家族や知り合いなど信頼のおける第三者に相談した。	17.2	
3.	各地の消費生活センター、国民生活センター、法テラス、弁護士会などへ相談	10.3	
	した(または苦情窓口を利用した)。		
4.	どう対処すればよいかわからなかったので(ないし面倒なので)、何もしなかった。	41.4	
5.	自己責任と考えてあきらめ、何もしなかった。	48.3	
6.	その他()	0.0	
0.		0.0	
	**************************************	D 4 D#	
	電話勧誘・ダイレクトメール・電子的手段などの非対面勧誘や取引において、商		
人し、	後悔した」経験をした後、どのような行動をとりましたか。(〇はそれぞれいくつ	つでも)	
1.	その商品を販売した金融機関などに相談した(または苦情を申し入れた)。	11.1	
2.	相談できる家族や知り合いなど信頼のおける第三者に相談した。	11.1	
3.	各地の消費生活センター、国民生活センター、法テラス、弁護士会などへ相談	25.0	
0.	した(または苦情窓口を利用した)。	23.0	
4.	どう対処すればよいかわからなかったので(ないし面倒なので)、何もしなか	27.8	
_	った。		
5.	自己責任と考えてあきらめ、何もしなかった。	44.4	
6.	その他()	0.0	

1.「金融機関が販売している金融商品の特徴(例えば、元本割れのリスクがある、など)に

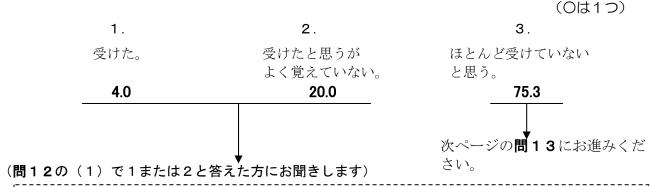
4.「すでにあるローンの支払いに充てるため、他の金融機関から借り入れることを繰り返したことがある。」経験をした後、どのような行動をとりましたか。(〇はそれぞれいくつでも)			
1.	その商品を販売した金融機関などに相談した(または苦情を申し入れた)。	1.5	
2.	相談できる家族や知り合いなど信頼のおける第三者に相談した。	23.1	
3.	各地の消費生活センター、国民生活センター、法テラス、弁護士会などへ相談 した(または苦情窓口を利用した)。	33.8	
4.	どう対処すればよいかわからなかったので (ないし面倒なので)、何もしなかった。	16.9	
5.	自己責任と考えてあきらめ、何もしなかった。	40.0	
6.	その他 (4.6	

学校での金融に関する教育についてお伺いします

(全員にお聞きします)

問12

(1) 金融に関する教育とは、「生活設計・家計管理」、「経済や金融のしくみ」、「消費生活・金融トラブル防止」、「キャリア教育」といった幅広い分野を対象とした教育で、これらを通じて、自分のくらしや社会について深く考え、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて主体的に行動できる態度を養うことを目指しています。あなたの小・中・高校時代のことについてお尋ねします。あなたは、学校教育の中で金融に関する教育を受けましたか。



(2) 学校で受けた金融に関する教育は、あなたにとって役立っていますか。

(0は1つ)

1. 役立っている。

少しは役立っている。

2.

3.

ほとんど役立っていない。

43.5

6.8 49.4

次ページの**問13**にお進みください。

(問12の(2)で2または3と答えた方にお聞きします)

(3) 学校における金融に関する教育が役立っていないものがあった場合、あなたはこれを補う 上で主に何から情報を得ましたか。(〇は3つまで)

1.	家族から	38.7
2.	友人から	20.8
3.	銀行、証券、保険会社およびこれらの業界団体	33.7
4.	政府、自治体、金融に関する消費者教育団体など	5.0
5.	テレビ、新聞、関係書籍、インターネットなどの情報媒体	59.7
6.	大学、短期大学、専門学校などでの教育	6.3
7.	特に何もしていない	14.1

(全員にお聞きします)

問13

その当時、今から考えると、学校における金融に関する教育について、不十分だったと思われることがありますか。以下のうちあてはまる番号に〇をつけてください。

		(0は3つまで)
1.	お金の大切さを理解することについて。	19.1
2.	お金の計画的な使い方を理解することについて。	18.7
3.	基礎的な金融・経済の仕組みを理解することについて。	46.5
4.	カードの知識や利用上の留意点について。	14.0
5.	金融商品の種類、商品性や特徴を理解し、適切に選択する能力をにつけることについて。	身 21.6
6.	投資に伴うリスクを理解することについて。	9.0
7.	家計管理や資産運用をうまく行うことについて。	13.0
8.	介護保険、年金などの老後の生活を支える仕組みを理解することついて。	27.0
9.	資産運用の自己責任意識の重要性について。	8.0
10.	金融トラブルにあわないための留意点について	18.6
11.	働く意欲と職業選択について	12.2
12.	その他 (3.5
13.	不十分だったと思うことはない。	12.3

問14

最近の学校における金融に関する教育についてはどのようにお考えですか。

		(0は1つ)
1.	もっと積極的に取り組んでほしい。	57.7
2.	現状程度で良い。	30.0
3.	現状ほど積極的に取り組む必要はない。	3.4
4.	学校では金融に関する教育は行わないほうが良い。	4.2

問15

今後、学校では、金融に関してどのような点を教えるべきだと思いますか。小学校、中学校、 高校別にお答えください。(〇はそれぞれ3つまで)

		小	中	高
		学	学	
		校	校	校
		\downarrow	\downarrow	\downarrow
(1)	お金の大切さ・重要さを理解することについて	91.5	27.5	13.9
(2)	お金の計画的な使い方を理解することについて	59.4	46.2	13.6
(3)	基礎的な金融・経済の仕組みを理解することについて	10.6	47.0	33.7
(4)	カードの知識や利用上の留意点について	3.5	25.3	41.0
(5)	金融商品の種類、商品性や特徴を理解し、適切に選択す る能力を身につけることについて	0.5	8.4	34.0
(6)	投資に伴うリスクを理解することについて	0.5	5.4	28.1
(7)	家計管理や資産運用をうまく行うことについて	1.2	10.9	22.7
(8)	介護保険、年金などの老後の生活を支える仕組みを理解 することについて	2.8	19.0	33.9
(9)	資産運用の自己責任意識の重要性について	0.9	5.3	26.1
(10)	金融トラブルにあわないための留意点について	4.5	19.8	36.2
(11)	働く意欲と職業選択について	17.6	36.0	35.8
(12)	その他 (小学校:) (中学校:) (高 校:)	1.0	0.6	1.0

問16

あなたは、金融に関する教育について、学校や家庭などとの間の役割分担についてどのようにお考えですか。あなたの考えにもっとも近いものに〇をつけてください。

		(0は1つ)
1.	主として学校教育がその役割を担うべきだ。	31.0
2.	主として家庭がその役割を担うべきだ。	32.4
3.	主として学校や家庭以外の組織や団体が担うべきだ。	10.9
4.	よく分からない。	24.0

ご家庭での金融に関する教育についてお伺いします

問17

あなたは、家庭における金融に関する教育について、どのような点を教えるべきだと思いますか。以下のうちあてはまる番号に〇をつけてください。

(Oは3つまで)

1.	お金の大切さを理解することについて。	71.3
2.	お金の計画的な使い方を理解することについて。	63.0
3.	基礎的な金融・経済の仕組みを理解することについて。	15.4
4.	カードの知識や利用上の留意点について。	26.2
5.	金融商品の種類、商品性や特徴を理解し、適切に選択する能力を身につけることについて。	5.8
6.	投資に伴うリスクを理解することについて。	4.9
7.	家計管理や資産運用をうまく行うことについて。	7.5
8.	介護保険、年金などの老後の生活を支える仕組みを理解することについて。	12.2
9.	資産運用の自己責任意識の重要性について。	4.8
10.	金融トラブルにあわないための留意点について	28.3
11.	働く意欲と職業選択について	25.4
12.	その他()	0.9
13.	不十分だったと思うことはない。	2.1

問18

最近の家庭における金融に関する教育についてはどのようにお考えですか。

		(0は1つ)
1.	もっと積極的に取り組みたい(取り組んでほしい)。	48.0
2.	現状程度で良い。	44.5
3.	現状ほど積極的に取り組む必要はない。	2.6
4.	家庭では金融に関する教育は行わないほうが良い。	2.2

金融広報中央委員会についてお伺いします

問19

金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、健全で合理的な家計運営のため、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、中立・公正な立場から正確でわかり易い「金融経済情報の提供」と一人ひとりが賢い消費者として自立するための「金融経済学習の支援」を積極的に展開している団体です。あなたは、金融広報中央委員会にどのような活動を期待しますか。

(Oは3つまで)

		ひはる フま (ご)
1.	中立・公正な立場を生かした、金融に関する公的な消費者教育機関としての役割	47.9
2.	各界を網羅した立場を生かした、銀行、証券、保険などの業界横断 的な金融知識・情報等の提供機関としての役割	30.0
3.	業界、消費者団体、地方公共団体、関係省庁など、金融に関する消費者教育に関連する政府・民間団体等の調整・取り纏めの役割	19.3
4.	さまざまな金融トラブルから消費者を守る消費者保護機関としての 役割	52.6
5.	その他 ()	2.0
6.	よく分からない。	26.0

次のページにお進みください。

最後に、めなたこ目身のことについてお伺いします。								
(a)	あなたの性別は	• 0						
	1.	2.						
	男	女						
	49.3	50.7						
(b)	あなたの年齢は	•						
	1.	2.	3.	4.	5.	6.		
	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上		
	11.9	16.9	15.6	19.8	18.5	17.4		
(c)	あなた(およひ	『配偶者》の昨年	₹1年間の4	年収(税込み) は次のうちど	の区分に入りますか		
	1.	2.	3	3.	4.	5.		
	収入はない。	500 万円未満	500~ 1,000 万		, 000~ , 500 万円未満	1,500 万円以上		
	9.4	59.8	2	3.7	3.4	1.2		
(d)	あなたの最終学	歴は次のうちと	ごの区分にプ	入りますか	(現在就学中の:	場合も含みます)。		
	1.	2		3.		4.		
	義務教育のみ高校課程修了		程修了	大学・短大修了 (大学院を含む、 経済学は専攻して いない)		大学・短大修了 (大学院を含む 経済学を専攻した)		
	17.7	48	3.8	28	.1	4.5		

ご協力ありがとうございました。